

## 令和4年度社会福祉法人かえつ福祉会事業報告

### 【かえつ福祉会理念】

わたしたちは「いつでも、どこでも、誰でもが安心できるケア」を提供し、地域住民と利用者とともに安心して住み続けられるまちづくりの実現を目指します。

### 【施設運営理念】

- 利用者の立場に立ち人権を尊重した運営を行います。
- 医療との連携を強め、障害があっても最後までその人らしく暮らせる施設を目指し、利用者とそのご家族が納得できるように支援します。
- 利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります。  
家庭的な雰囲気の中で一人一人の個性や生活のペースを大切にした健康的な生活と、利用者が相互に社会的関係を築き、自立と自由を大切にした日常生活が送れるよう支援します。
- 利用者が地域の一員として地域や家族との結びつきや交流を大切にして、安心して暮らせるように支援・活動をすすめます。
- 地域に開かれた施設として地域の声に耳を傾けながら、人の集う場の提供や多様な機関等と連携・協働する、地域とともに発展する組織を目指します。

### 【法人概要】

|            |                       |
|------------|-----------------------|
| 法人名        | 社会福祉法人かえつ福祉会          |
| 代表者名       | 理事長 山川 良一             |
| 主たる事務所の所在地 | 新潟市秋葉区東金沢 1459 番地 5   |
| 認可年月日      | 平成 24 年 10 月 25 日     |
| 設立登記年月日    | 平成 24 年 10 月 26 日     |
| 役員数        | 理事 6 名、監事 2 名、評議員 8 名 |

### 【事業】

- ① 特別養護老人ホームあがうら
- ② 特別養護老人ホームあがうらショートステイ
- ③ グループホームあがうら<sup>なごみ</sup>和

### 【職員総数】

(令和5年3月31日現在) 99人(他 派遣職員6人)

## 【法人基本方針総括】

### ① サービスの質の向上

コロナ渦3年目となり、ご家族との面会制限など感染対策を重視した施設運営とならざるを得ませんでした。ボランティア・地域との交流はインターネットを通してなどの工夫が加えられました。

感染拡大に伴い第8派では、各事業所内でコロナ感染者の施設内療養を行いました。協力病院と連携しての入院、感染拡大予防対策を行い、BCP（事業継続計画）に基づき事業を継続しました。

また、「笑顔とちょっと幸せな時間」を過ごしていただけるよう、「ご利用者の希望をかなえる」取り組みをすすめ、8割の方の希望を実現しました。

### ② 地域における公益的な取り組みの推進、地域の信頼と協力得るための情報発信

阿賀小学校での「高齢者体験」での講師派遣とZoom交流、第五中学校での総合的学習「福祉施設訪問」の受け入れなどをすすめました。

町内等への地域版あがうらだよりを年2回の発行し、情報を発信しました。

### ③ 賃金の改善等定着と育成を重視した人材確保に向けた取り組みの強化

国の補助金により2022年2月より賃金改善を行い、10月からの介護報酬改定によるベースアップ等支援加算で、ベースアップを継続しました。

育成では、日々のケアの中で心温まるエピソードを「ニヤリ・ホット報告」として10事例をまとめました。

### ④ 改正社会福祉法に基づいた、理事会・評議員会・監事などの組織統治(ガバナンス)の確立、法令遵守の経営

新潟市による介護保険法に基づく運営指導が9月グループホームあがうら和に行われました。全職員への研修伝達の確実な実施と感染症及び非常災害にかかる業務継続計画の策定、研修及び訓練を定期的な実施について口頭指導を受け改善をすすめました。

新潟市による社会福祉法に基づく指導監査が11月かえつ福祉会に対して行われました。会計に関する口頭指導については2021年度決算時に改善されており、小口現金の保有額については2022年度内に経理規定の改定をおこないました。

## 【各事業所運営総括】

### 2022年度 特別養護老人ホームあがうら・あがうらショートステイ事業運営まとめ

1. 利用者の視点に立ち、入所・入居者、利用者のサービスの向上、地域の一員としての交流を深めます。
  - ・全入居者の希望を聞き取りは、105/131人(80%)、希望の実現は65/131人(50%)実現しました。
  - ・医務室を中心に退院時の問題点等から再入院しないようなケアを目指しましたが、コロナ感染対応、多職種が集合できる日にちの設定の課題と合わせ、これまでとは違う入退院数と変動に対処できなかつた。
  - ・文化祭は、昨年からの阿賀地域の2小学校、1中学校と作品交流が継続でき、その内容を地域版あがうらだよりで広報しました。
  - ・年2回地域版「あがうらだより」を発行しました。

- ・苦情は5件（内、潟市への報告1件）。ケア内容と接遇の向上が求められました。

## 2. 介護の質・業務改善の視点に立ち、ケアの質の向上に努めます。

- ・リスクアセスメントシート（転倒・転落、誤嚥・窒息）の活用は12月で全利用者に1巡し、ご家族と状況を共有しました。
- ・厚労省（LIFE）からの個人のデータフィードバックはいまだ不十分ですが、3か月毎のLIFEデータチェックより、個別ケア計画の見直しができています。
- ・厚生労働省「自然災害発生時の業務継続ガイドライン」「新型コロナウイルス感染発生時の業務継続ガイドライン」に基づく施設BCPを作成しました。  
施設BCPに基づいた感染対応訓練（PPE訓練2回）、水害時、地震時対応訓練を行いました。
- ・新潟市への事故報告は4件。

## 3. 技術建設・人材育成、成長の視点に立ち、民医連職員の育成をすすめます。

- ・育成面接は、介護100%、事務100%、医務100%に実施した。自己研修への受講費支援を5名が申請しました。
- ・中途採用者、異動時の研修に合わせてプリセプターの育成を2名行いました。
- ・施設内学習週間は9回開催延べ48日、延べ436人参加となりました。
- ・外部研修は38種類の研修に100名参加しました。  
ライセンス取得をすすめ、3月末現在 特養介護福祉士40名（比率71%）、特養喀痰吸引資格者は32名（比率57%）です。  
1名が介護支援専門員を取得しました。
- ・事例のまとめを9例行い、4月新潟民医連運動交流集会上に1例（医務）、10月全日本民医連看護・介護交流集会上に1事例（介護）発表しました。
- ・ハラスメント研修は、ユーチューブでの学習に76名（対象者全員）視聴しました。
- ・9事例のまとめと、「ニヤリホット報告」10事例をまとめました。

## 4. 地域や社会とともにの視点を深めます。

- ・6～7月、全日本民医連第45回総会方針学習月間を設け、6時間以上勤務職員全員がDVD視聴しました。

## 5. 健全な経営収支を確保します。

- ・コロナ感染拡大に伴う入所制限等で、特養入居率89.0%（目標94%）、ショートステイ83.9%（目標83%）でした。
- ・介護・看護職員の確保と定着をすすめました。

## 2022 年度グループあがうら和 事業運営まとめ

グループホームあがうら和は開設して3年が経過しました。

入居者18名、退居2名、新入居2名、年間入居率は97.8%でした。退居理由は、入院後グループホームでの共同生活が困難となったためでした。

新型コロナウイルス予防策を継続していましたが、第8波のあおりを受け2022年11月末に職員から入居者2名に感染し、施設内療養を行いました。

地域密着型サービス事業所として、2カ月に1回の運営推進会議は感染状況を確認しながら、書面で3回(5月、9月、1月)、対面で3回(7月、11月、3月)実施しました。ご家族、包括支援センター、阿賀浦コミ協、協力病院、協力施設、他グループホームより参加を得、各参加者からの意見、助言などいただきながら、施設運営をすすめました。対面開催では入居者の方々も参加し、発言していただくことができました。

また外部評価を実施し、現状における問題点・課題に取り組みました。

1. 入居者の立場にたったかわり、それぞれの思いを大切にするケアに向けて取り組みました
  - ・ケアプラン、個別援助計画を定期的に見直し、職員間で情報の共有を行いました。24時間シートの見直し、ニーズ、ケアの再確認を行いながら、入居者の思いを大切にしたケアに取り組みました。
2. ご家族との結びつきを大切にしました
  - ・コロナ禍の中、地域、ボランティアさんとの交流、結びつきの方針は取り組みませんでした。受診される入居者は受診が面会という状況になりましたが、ご家族へ電話での連絡、月1回のご家族への手紙、毎月のユニット広報にて施設内の入居者のご様子をお伝えしました。
3. 家庭的な雰囲気や役割を持った暮らしを大切にしました
  - ・季節を感じられる行事や、お誕生日会(ゆずユニット19企画、うめユニット25企画)を実施しました。家庭的な雰囲気や役割を持って生活できるように環境を整えました。
4. 介護の質、業務改善の視点に立ちケアの向上に努めました
  - ・防火訓練2回、水害訓練1回、地震訓練1回実施しました。地域の方々と協力した防災訓練は実施できませんでした。
  - ・施設内学習は、協力施設の特養とともにすすめ、参加できなかった職員への伝達講習に力を入れました。
  - ・外部研修の新潟市認知症実践者研修は、前期1名、後期1名受講し、受講者を中心にしてチームとしてケアの改善に取り組みました。

ライセンス取をすすめました。3月末現在 介護福祉士11名(比率68.75%)

  - ・転倒による骨折事故が2件発生し、新潟市へ報告しました。ヒヤリ・ハットの集団での検討を重視しました。

5. 人材育成、働きやすい職場環境づくりに取り組みました

- ・チャレンジシートを活用し、職員面談を1回実施しました。面談から出された意見はユニット会議で検討、改善を図りました。

「ハラスメント」の学習会は動画を利用し、全職員で学びました。

6. 健全な経営収支を目指しました

- ・新規入居者のスムーズな入居に努めました。入居率は97.8%でした。